

独立役員からのメッセージ



社外取締役(独立役員) 野原 佐和子

当社の強みを活かし、 地球環境変化等がもたらす新たな疾病に対峙する

当社がサステナブルな社会の発展へ貢献するために、
当社へ期待することと強化ポイントを教えてください。

スキルマトリックスを踏まえた、ご自身の役割について
教えてください。

デジタルビジネスおよびイノベーション関連の調査研究を行う企業を設立し経営してきた経験を活かし、当社におけるデジタル技術やAI等を使った新事業開発およびDX推進、あるいはR&D戦略についての議論に積極的に参加しています。

また、多様な業界において経営改革およびガバナンス改革のさまざまなステージにある企業で、社外取締役に多数務めてきたため、各社を相対化して見ることができ、より客観的に状況を判断できると感じます。当社における経営のあり方や戦略検討、コーポレートガバナンスの向上、マテリアリティマネジメントをはじめ、さまざまな機会にその経験を活かしていければと考えています。

サステナブルな社会の発展には、CO₂排出量削減や廃プラスチックリサイクルなどの、事業活動における環境負荷の低減や気候変動対策の積極的実践が不可欠です。しかしそれだけでなく、当社の強みであるサイエンス&テクノロジー (S&T) を活かし、地球温暖化の進行等に伴う疾病構造の変化によって発生する、新感染症等の新疾患に関する革新的な医薬品を創出すること。さらに、それらを世界へ安定供給し、医療関係者が安心して患者に治療できる環境を構築することが、より重要な貢献となると考えています。

新たな疾病発生の予兆を感知し、いち早く先進的な予防薬や治療薬を創出できる体制を構築することを期待しています。そのために、多様なモダリティの研究推進、専門人材・多様な人材の育成と活躍推進、グローバル経営力向上による投資力拡大等を強化していく必要があります。



社外取締役(独立役員) 福井 次矢

医学の知識や医療提供、 組織運営の経験を活かして

スキルマトリックスを踏まえた、ご自身の役割について
教えてください。

私自身は、スキルマトリックスに挙げられた9種類のスキルのうち、サイエンス&テクノロジー(S&T)と人事・人材育成のスキルを有すると評価されています。これまで医学-自然科学だけでなく人文科学、社会科学も含みます-を学び、医療を提供してまいりました。そしてその間に、米国で公衆衛生学(疫学、統計学、環境医学、行動科学、医療政策管理学等)を学び、大学や病院の管理運営にもあたってまいりました。大学や病院の管理運営には、人事・人材育成が決定的に重要で、期待以上にうまくいったこともあれば、後々悔やむような経験も何回かいたしました。

そのような学問的背景と医療提供、組織運営の経験を活かし、会社の重大な決定事項に係るあらゆる観点からの検討に貢献できればと思っています。



社外取締役(独立役員) 釜 和明

攻守合わせたガバナンスと 社員一人ひとりの能力の最大化を目指す

当社がサステナブルな社会の発展へ貢献するために、
当社へ期待することと強化ポイントを教えてください。

スキルマトリックスを踏まえた、ご自身の役割について
教えてください。

社外取締役に当社の持続的な成長と企業価値の向上に資することが求められていると考えています。今年度は第5期中期経営計画の初年度にあたります。2025年度目標「[がん]に強みを持つ先進的グローバル創業企業」を達成し成長ステージへに向けての施策の実行がスタートしています。

総合重工業の企業経営者としての経験・知見および財務・会計分野での専門性や実務経験を活かして施策の実現を支えてまいります。そのためにも、施策の後押しを行う「攻め」のガバナンスとリスクや内部統制の有効性の検証などの「守り」のガバナンスの2つの役割をバランスよく全うしてまいります。

2025年度目標を実現するための施策と工程表が作成されていますので、まずは施策のPDCAを確実に回していくことが大事です。

一方で、今回の新型コロナウイルス感染症などパンデミックの発生、大規模な自然災害、地政学的なリスクなど、リスクが発生する確率と発生した場合の損失の大きさは従来と比較できない程大きくなっています。従って、リスクマネジメントの徹底と危機発生時の適切な対応が求められます。

新中期経営計画を達成するのはグローバルで働くグループの社員一人ひとりの力です。ウィズコロナ、ポストコロナにおける働き方は大きく変わります。従って、社員の一人ひとりが能力を十分に発揮できる環境づくりが必要です。

独立役員からのメッセージ



社外監査役(独立役員) 樋口 建史

リスクの芽を摘むマネジメントの高度化に向けて

ご自身の経験や専門を踏まえた、ご自身の役割について教えてください。

当社がサステナブルな社会の発展へ貢献する上での、コーポレートガバナンスに対する考え方を教えてください。

私は長く治安を預かる警察官僚として「事件や事故の起きにくい社会づくり」に携わってきました。重大な事件事故は、ひとたび発生を許してしまえば、早期に解決できたとしても、人命はもとより、経済的損失でさえ100%の被害回復は望むべくもありません。発生した後の対処能力の高度化や資機材の整備も大事なことです。未然防止に優る施策はありません。事件事故の発生要因を徹底分析し、発芽させない社会環境の整備を丹念に進めていったことが、「世界一健康で安全な国・日本」の実現につながっているように思います。

当社が先進的グローバルヘルスケアカンパニーとしてサステナブルな社会の発展に貢献していくためには、複雑多様化するリスクに対処できる高度なガバナンスのプロセスを構築することが不可欠です。私は、事件事故の未然防止の手法がリスクマネジメントに通じると考えています。現在多くの企業ではリスクの存在を認識した時点からマネジメントが始まっていますが、もっと前広に捉えてリスクの芽を摘み取ることができれば、多くのリスクを顕在化させないで済むはずで

す。リスクが顕在化に至るまでの過程はさまざまですが、必ず人的要因が絡んでいます。リスクの芽を摘み取るための鍵は、万一リスクが生じた場合には深刻な事態を招きかねない重要業務の担当者に焦点を合わせて、人事管理と業務管理の高度化を図ることにあるように思われます。そういった観点から、監査役会として、社会づくりのプロセスも参照しながら、コーポレートガバナンスの一層の高度化に貢献したいと考えています。



社外監査役(独立役員) 今津 幸子

社会的信頼に応える、良質な企業統治体制の確立に向けて

当社がサステナブルな社会の発展へ貢献する上での、コーポレートガバナンスに対する考え方を教えてください。

ご自身の経験や専門を踏まえた、ご自身の役割について教えてください。

企業経営における透明性やコンプライアンス重視の傾向は、より一層高まっております。健全な企業経営を行うためには、社内の自律機能・自浄機能を高めることに加えて社外の第三者的な視点からの検討も欠かせません。新型コロナウイルス感染症による不安定な状況が続く中、競争力と優位性を生み出す多様な人材を育成し、その活躍を推進していくことの重要性も高まっています。これまで弁護士として、労働案件を中心に、企業法務、コーポレートガバナンスに携わってきた経験を活かし、当社の社外監査役として、社会的信頼に応える良質な企業統治体制の確立に貢献できるよう、引き続き尽力する所存です。

革新的医薬品を継続的に創出し、多様な医療ニーズに応える医薬品を提供することで、世界中の人々の健康で豊かな生活に貢献するという当社の企業理念を実現するために、当社も時代のニーズに応じて柔軟に変化していかなければなりません。当社は、2025年目標「がんに強みを持つ先進的グローバル創薬企業」を実現し、2030年ビジョン達成に向けた成長ステージに移行することを目指した第5期中期経営計画を策定し、また、真のグローバルヘルスケアカンパニーとなるべく、新たなグローバルマネジメント体制を構築しました。

しかし、企業が何かを変えようとするときは、チャンスと同時にリスクも生じます。弁護士としての社外監査役には、常に中立の立場からリーガルマインドに則って客観的に監査意見を表明することで無用な法的リスクを回避し企業価値の毀損を防ぐことで、株主の安心感と企業価値の向上に貢献することが求められます。当社が今後も持続的な成長を果たすべく、当社の経営の適法性および健全性の確保に引き続き努めてまいります。



社外監査役(独立役員) 渡辺 雅子

企業会計・監査の専門家として、企業統治のさらなる向上に貢献する

ご自身の経験や専門を踏まえた、ご自身の役割について教えてください。

2021年6月の株主総会において社外監査役に選任されました。新型コロナウイルス感染症の世界的拡大により、製薬会社の果たす役割や社会からの期待はかつてなく大きく、こうした未曾有の状況下に、先進的グローバル創薬企業を目指してグループ一丸となって取り組んでいる当社の社外監査役に着任し、身が引き締まる思いです。

私は、公認会計士として30年間監査法人に所属して数多くの業種・業態の会計監査や財務調査を行い、そのなかで企業のガバナンス体制や内部統制システムに起因するさまざまな経営課題や不正事案等に直面し、その都度経営者や監査役等の

方々と対峙・議論してきました。こうしたコーポレートガバナンス体制の重要性を認識した経験を踏まえ、監査役として、そして企業会計・監査の専門家として、いろいろな局面で積極的に発言しガバナンス機能を果たし、企業統治体制のさらなる向上に尽力してまいります。また、内部監査部門、会計監査人、グループ会社の監査役との連携をも図り、内部統制システムの機能状況を監査し当社グループの継続的な企業価値向上に貢献できるよう務めてまいります。

新任監査役としての抱負について教えてください。

精力的に活動されている常勤監査役との意見交換を踏まえて、時には各部門に直接ヒアリングしたり研究開発や製造等の現場視察を行い、当社の事業や実態をよく理解して社外監査役としての役割を果たしたいと考えています。どうぞよろしくお願い申し上げます。